

シンポジウム

裁判員の 経験を活かす

裁判員制度が施行されて9年が過ぎました。
裁判員・補充裁判員経験者は、全国で8万人
を超えています。

でも、裁判員経験者の「生の声」を聞いた
ことがあるでしょうか？裁判員経験者の声は、
なかなか社会に届いていないのが現状です。

2018.

11
/ 24

土

入場無料

※事前申し込み不要

14:00 — 17:00

弘前大学 創立 50 周年記念会館

岩木ホール（文京キャンパス内）



本シンポジウムでは、裁判員経験者の実体験を、裁判員経験者に語ってもらい、あるいは、これまでの様々な場での裁判員経験者の声をご紹介しますことで、まずは裁判員経験者がどのような経験をしているのか、どのようなことを考えていたのかを来場者の皆さんに体験してもらいます。その上で、裁判員経験者の経験をどのように活かせるか、その可能性と、市民の司法参加のあり方について、パネルディスカッションで考えてみたいと思います。裁判員制度に興味のある方は、是非ご来場ください。

プログラム

第1部 裁判員の経験をどう伝えるか

○報告者：飯 考行（専修大学法学部）

第2部 裁判員経験者の経験を聞いてみよう

○コーディネーター：平野 潔（弘前大学人文社会科学部）

○登壇者：裁判員経験者、学生

第3部 パネルディスカッション

○コーディネーター：飯 考行

○パネリスト：宮崎 秀一（弘前大学教育学部）、法曹関係者、
裁判員経験者、学生など

主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター、人文社会科学部、教育学部

【お問い合わせ】：弘前大学人文社会科学部・平野 潔 tel & fax : 0172-39-3199 / e-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学地域未来創生センター
Innovative Regional Research Center



HIROSAKI
UNIVERSITY